西東京市市民協働推進センター

平成30年度第8回運営委員会会議録（確定稿）

■開催日時：平成30年12月18日(火)午後7時00分～8時00分
■開催場所：イングビル3階第3、4会議室
■出席委員：海老澤委員、柿本委員、古林委員、櫻井委員、佐藤(文)委員、鈴木委員、三好委員＜以上7名、五十音順＞
■事務局　：小松センター長、鈴木副センター長、妻屋福祉活動推進課長、山田地域福祉推進課係長

1.報　告　事　項

1.業務報告について

事務局より、11月期の主催事業、ホームページアクセス数、新規登録団体、市民活動相談の状況について説明があった。

委員長：相談事業の回答で社協の職員を紹介したとあるがどのようなことを聞きたいという相談だったのか。

事務局：ゆめこらぼに登録して2年くらいの団体だが、ゆめこらぼやボランティアセンターなど社協がどのような事業をやっているのか聞きたいとのことだった。

2. 12月以降の事業について

事務局より、12月以降の実施事業について説明があった。

委員長：ひきこもりをテーマとしたまちづくり円卓会議に参加しての感想だが、30名程の参加者があった。お互いの意見交換が有意義で、効果が期待できるような会議であった。

委　員：市外の参加者もいたのか。

委員長：市外の方もおり、色々な分野の方も参加していた。どの方の話を聞いても深掘りできる内容であった。

3.自主企画委員会の進捗について

事務局より、自主企画委員会の進捗について説明があった。

副委員長：どういう経緯で「やってみ隊」が始まったのかを最初にしっかり伝え、話し合いのルールも紙に書いて貼っておいた。自己紹介タイム、自分のやってみたい事の説明を1人3分で話してもらった。それぞれのやりたいことはバラバラだが、共通のワードはあった。ゆめこらぼが何をしているのかわかりにくいので、市民に分かりやすく伝える場があると良いこと、又、今まで語ることができる場がなかったので、この様な機会があれば良いとの意見があった。

委員長：企画提案事業ではないので、一つの企画が決まってもよいが、決まらなくても良いなど着地点が見えないことで話が進まない部分もあった。

副委員長：ワーキンググループという発言があり、ゆめこらぼ主導ではなく団体が手をあげて活性化していくというやり方もあるのではないか。ネットワークを作る手伝いをゆめこらぼがやっても良いのではないかという意見が出た。

委員長：今回話合いの場が持てたことが良かったという意見があり、話し合いの方向性が見えた。

副委員長：反省点としては進行に時間がかかってしまったこと。こちらからの問いかけがあった方がより話し合いが進んだと思う。

委員長：ワーキンググループを今後どう進めていくか、1月26日の交流会で報告だけでもしてはどうかという意見も出たので、事務局からNPO市民フェスティバル実行委員へ提案して欲しい。

委員長：また、今回の会議は板書とUDトークを利用したため、参加者、参観者にわかりやすかったと思う。

事務局：NPO市民フェスティバル実行委員会へ協力できるか打診していく。

2. 審　議　事　項

1. 前回の会議録について

委員長：意見がなければ確定稿とする。

3. 協　議　事　項

1. センターの業務の執行に関する事項（重点事業の企画）について

事務局より平成30年度西東京市市民協働推進センター運営委員会委員名簿（案）について説明があり、次期運営委員候補について協議した。

4. そ　の　他

1. 次回運営委員会日程について

日時：1月15日（火）19時～21時

会場：イングビル3階　第3、4会議室